

2023年度 事業計画書

[2023年4月1日～2024年3月31日]

事業概要

2023年度は、地球電磁気・地球惑星圏学会主要な事業である講演会の開催、学会誌および会報の刊行、学会賞の表彰、関連分野の学会等との交流・協力等の活動を継続実施し、地球電磁気学や地球惑星圏科学の教育・人材育成・社会連携などの事業を行う。

1. 年次大会、大会、講演会などの学術的会合の開催

1.1 日本地球惑星科学連合2023年大会

日本地球惑星科学連合2023年合同大会におけるセッションの一部を当学会と共催する。

期日：2023年5月21日(日)-26日(金)

開催方式：ハイブリッド方式（現地開催＋オンライン開催）

現地会場：千葉県千葉市 幕張メッセ

1.2 地球電磁気・地球惑星圏学会2023年講演会

地球電磁気・地球惑星圏学会2023年講演会を開催し、口頭発表及びポスター発表を行う。

2. 情報の発信

会報および欧文学術誌の刊行及び、学会ホームページを通じて、学会内外への情報発信力の強化に努める。学会から会員への周知と会員相互の情報交換を目的としてメーリングリストSGEPSSALLおよびSGEPSSBBを運用し、過去に配信された記事を会員のみが閲覧可能なパスワード認証付きページに掲載する。

2.1 会報

2023年度には、第247号から第249号まで会報を3回発行し、学会ホームページ上で公開する。

2.2 欧文学術誌「Earth, Planets and Space」

日本地震学会、日本火山学会、日本測地学会、日本惑星科学会及び本学会の合同学術雑誌である、欧文学術誌「Earth, Planets and Space」（EPS誌）をSpringer-Nature社よりオープンアクセスのオンラインジャーナルとして発行する。日本惑星科学連合(JpGU)が発行する「Progress in Earth and Planetary Science」（PEPS誌）と共同し、科学研究費補助金（研究成果公開促進費：19HP1001）の支援を受け国際情報発信を行う。

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰

3.1 学会賞の表彰

長谷川・永田賞、田中館賞、大林奨励賞、SGEPSSフロンティア賞、学会特別表

彰、SGEPSS論文賞、及び学生発表賞(オーロラメダル)を選考し、表彰する。

3.2 国際学術交流事業

国際学術交流事業の一環として、「若手派遣」、「外国人招聘」、及び「国際学術研究集会等、広く国際学術交流の推進に役立つ事業への補助」に、その費用の全額または一部を支給する。

4. 国内外の地球電磁気学や地球惑星圏科学及び関連分野の学会等との交流・協力
共催・協賛・後援の依頼があった各講演会・シンポジウム等に対応する。

5. 地球電磁気学や地球惑星圏科学の教育・人材育成、広報、社会連携などの事業

5.1 アウトリーチ・イベント

秋学会において一般向けのアウトリーチ・イベントを開催する。外部資金獲得を検討する。

5.2 秋学会プレスリリース

秋学会の前にハイライト論文のプレスリリースを行い、地球電磁気学や地球惑星圏科学の啓蒙、広報に力を入れる。

5.3 衛星設計コンテストへの参加

衛星設計コンテストに、各種委員として参加する。

5.4 男女共同参画

- ・ 男女共同参画学協会連絡会の運営委員会へ参加し、日本全国の理学系学協会との男女共同参画活動に関する情報交換を行う。
- ・ 女子中高生夏の学校に参加し、理系進路選択の魅力を伝える。
- ・ 秋学会期間中に保育室の紹介および保育室利用料金の補助を行う。